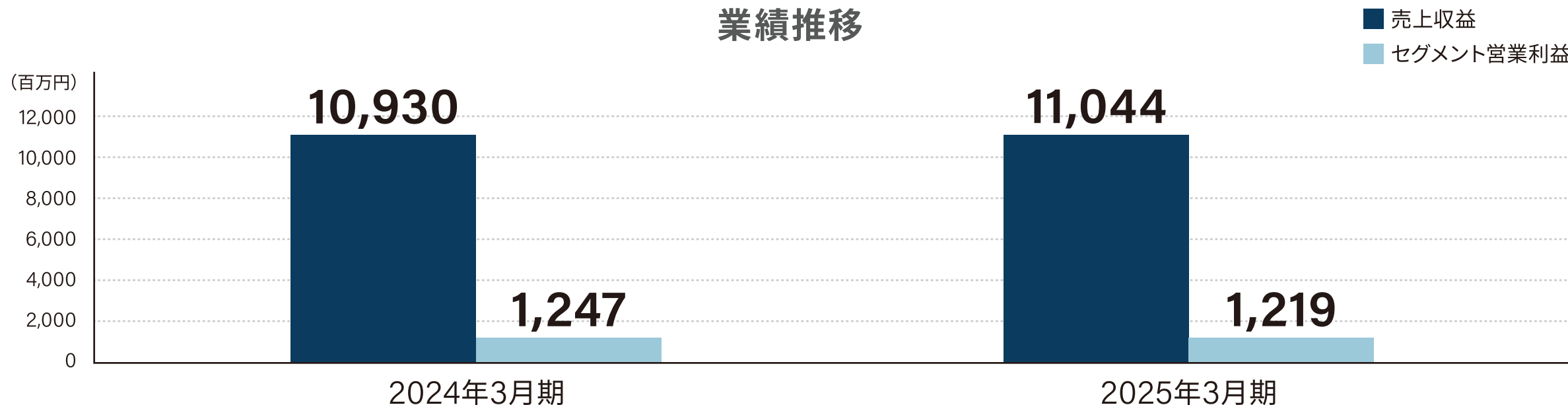




2025

2025年3月期 事業報告
ティアック株式会社

業績推移



■ プレミアムオーディオ機器

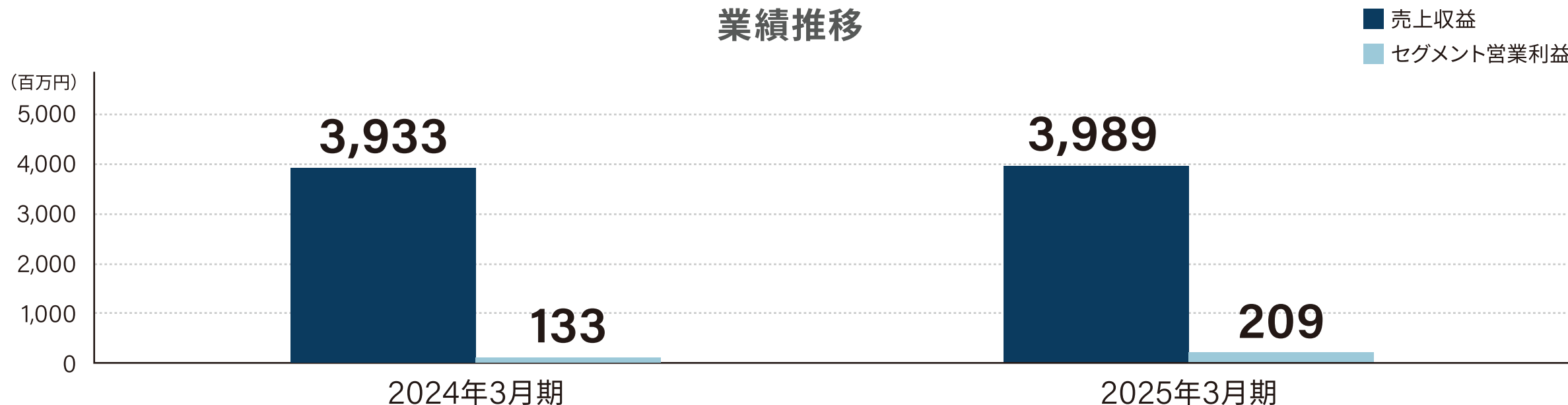
- ハイエンドオーディオ (ESOTERICブランド): SACDプレーヤー、ネットワークプレーヤー、フォノアンプが好調に推移。
- プレミアムオーディオ (TEACブランド): USB DAC、ターンテーブルカテゴリーが堅調に推移。
- 北米販売の成長もあり、プレミアムオーディオ機器全体では前期比で増収。

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)

- BtoB事業: 録音再生機器と各種周辺機器販売が好調に推移。
- BtoC事業: 下期上市のクリエイター向け新製品が好調も、上期実施の米国販売網再編成による低迷分を挽回するに至らず。
- 音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前期比で減収。

■ 音響機器全体では増収減益

業績推移



■ 計測機器

- データレコーダーが新製品上市もあり好調の一方、センサー及びデジタル指示計の半導体製造装置向けが伸びず前期比で減収。

■ 医用画像記録再生機器

- 国内消化器内視鏡向けレコーダーが堅調、手術画像記録用4Kレコーダーも国内と北米で大幅伸長し前期比で増収。

■ 機内エンターテインメント機器

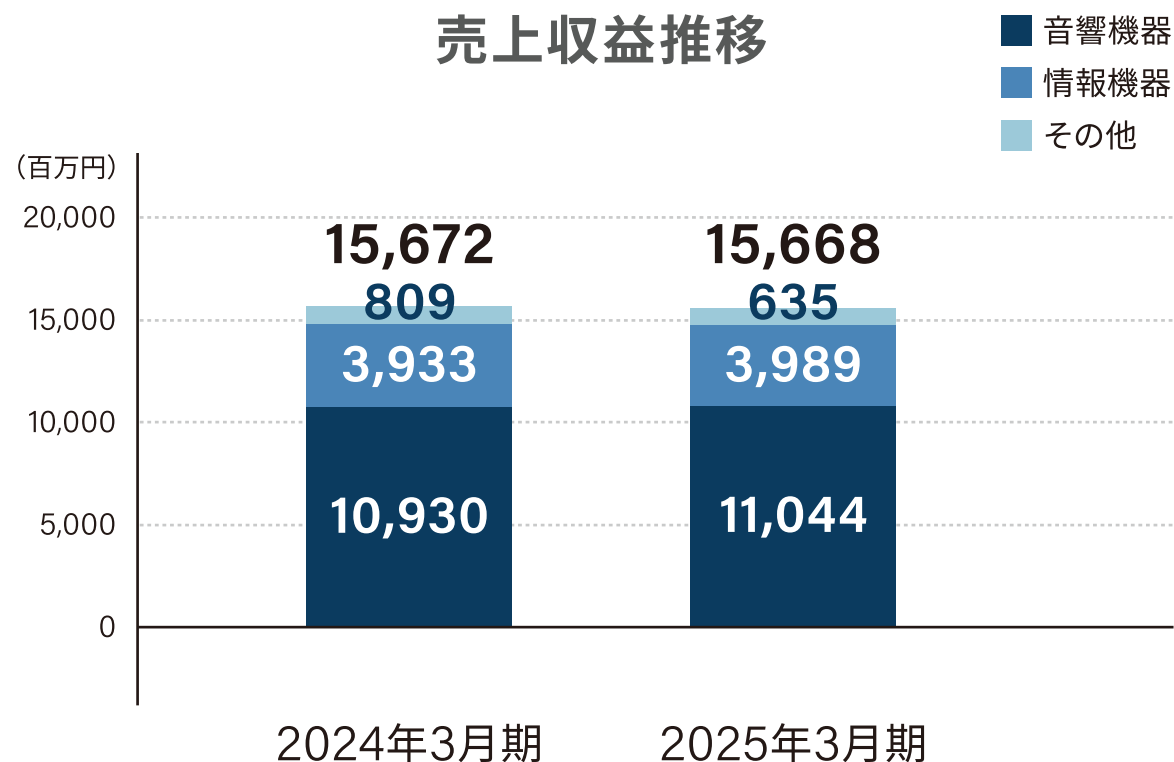
- 欧州エアラインへ納入開始し他地域からの引合い増加も大口案件で遅延が発生し前期比で減収。

■ ソリューションビジネス

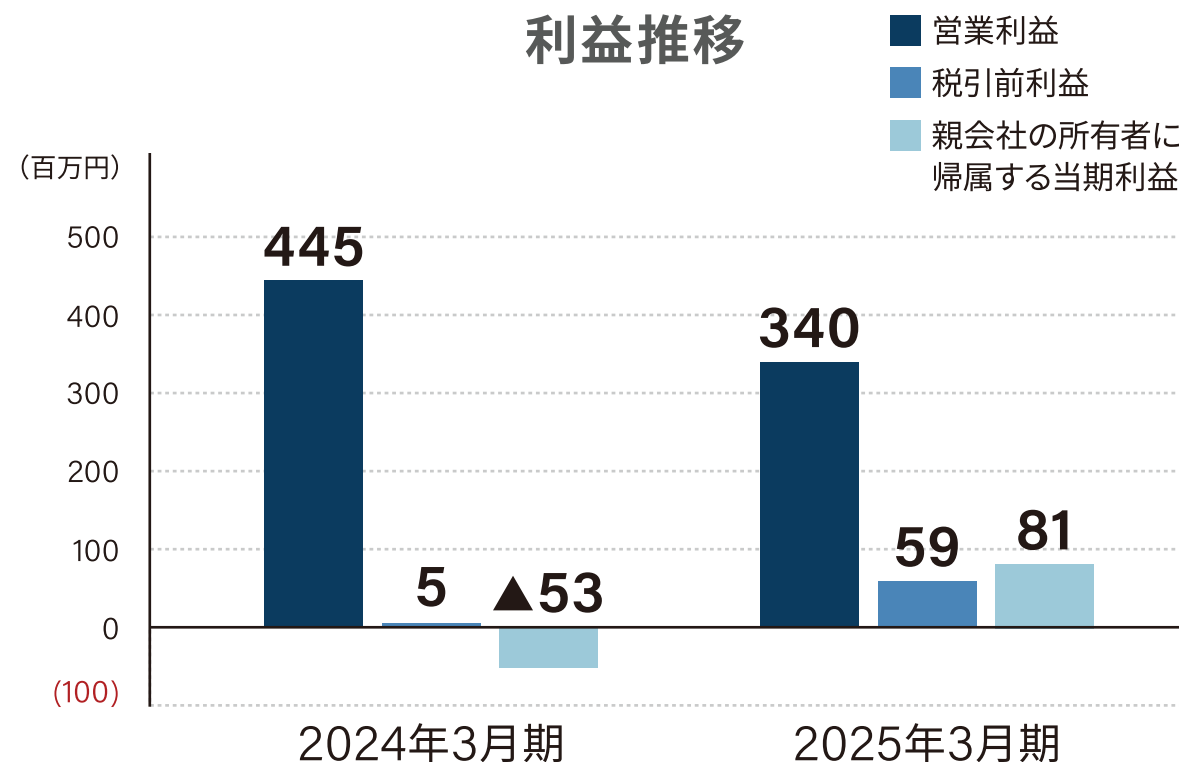
- 医用向けサーバーの出荷が年間を通じて好調に推移し前期比で増収。

■ 情報機器全体では増収増益

売上収益推移



利益推移

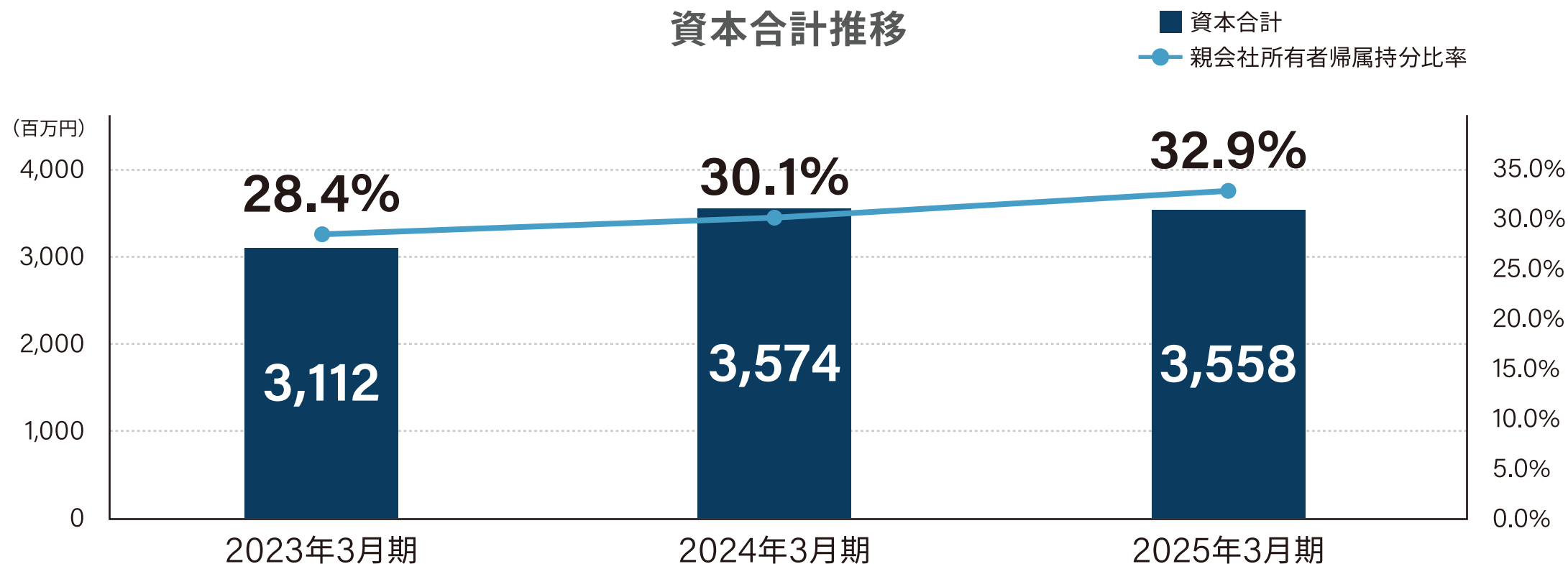


■ 売上収益・営業利益

売上収益は、音響機器事業・情報機器事業ともに増収も、その他事業の縮小により前期比横ばい。営業利益は、原価率の上昇による売上総利益の減益に伴い前期と比較して減少。

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

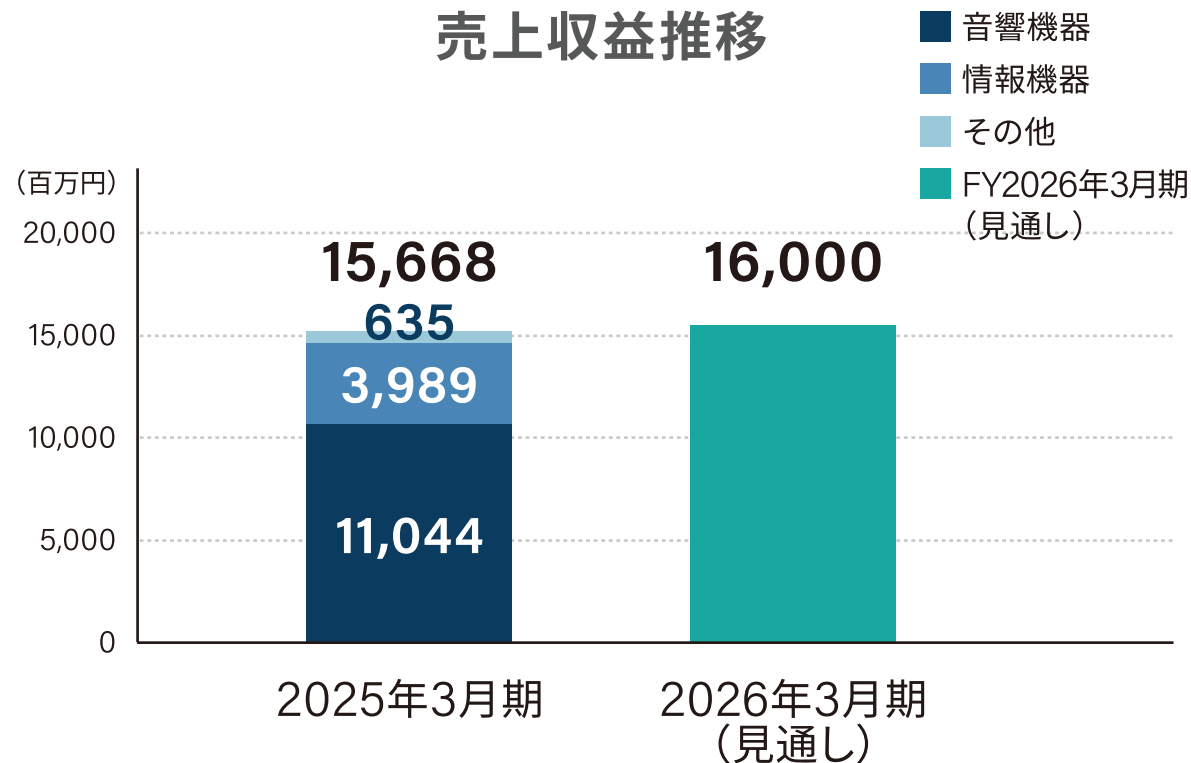
前期と比較して為替相場の変動に伴う損失が減少したことから、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期と比較して増加。



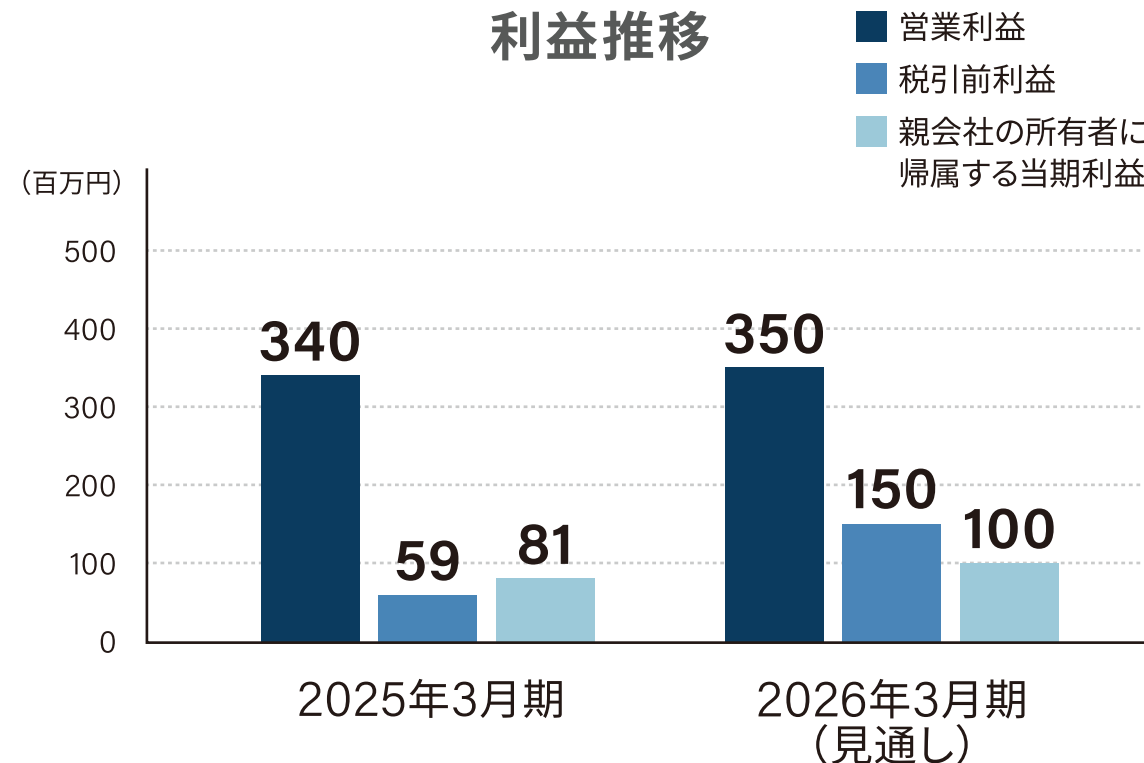
■ 第77期末の資本合計は3,558百万円

自己資本比率は前期比+2.8ppt増となり、中期経営計画目標である「30%以上」を達成。

売上収益推移



利益推移



■ 外部環境

インフレや金融市場の混乱、地政学的リスク等に加え、米国政府の通商政策の動向次第では当社の販売戦略、事業展開に影響が及ぶ。

■ 連結業績の見通しは増収増益を見込む

収益悪化リスクは存在するが、比較優位性を持つ製品の適宜価格改定と併せ、更なる戦略製品の導入と事業領域の拡大により増収を計画。米国における通商政策のマイナス影響は想定される範囲内で織り込み済み。